

学会記事

◎第2回理事会(昭 31.7.12) 出席者: 平山会長, 種谷副会長, 東, 畠山, 飯吉, 柴橋, 丸安, 中安, 逸見, 米屋の各理事。議事: 1) 6月中の行事その他報告, 2) 支部交付金の決定について, 3) 夏季講習会細目の決定, 4) 税対策として会誌を販売しないこと, 5) 普通論文集の表紙(2, 3)に広告登載のこと承認, 6) 海岸保全施設小委員会を設置し, その構成を次のとおり委嘱する。

(委員長) 本間 仁, (委員) 東 寿, 井島武士, 石原藤次郎, 小川 泰恵, 宮野徳太郎, 佐藤清一, 瀬尾五一, 野知浩之, 山内一郎, 渡部 弥作, (幹事) 有賀世治, 岩垣雄一, 岸 力, 白石直文, 中本誠一郎, 浜田徳一, 堀川清司。

7) 理事山本三郎君退任について臨時常議員会(書面による)で後任に中安米蔵君を決定, 8) 常議員藤森謙一君(関西支部)転出につき後任に武田良一君, 小川 勝, 古閑正孝, 今 俊三の3君(北海道支部)任期満了につき, 河原清一郎, 近藤重喜, 板倉忠三の3君新任,

8) 委員の改任について,

a) 論文集委員会: 大宮克己君退任, 安浪金蔵君後任,
b) 会誌編集委員会: 北海道支部から横道英雄君を推薦
9) 工業技術院から土木製図 JIS 原案作製方委嘱について, 10) 日本学術会議会員立候補者の推薦について関係学協会および各支部に照会すること, 11) 学会誌, 論文集その他に対する会員のアンケートを取ること, 12) 昭和 32 年度総会および年次講演会を北海道で開催する時期について, 13) 会員入退会承認。

◎各種委員会

1. 第2回会誌編集委員会(昭 31.7.20) 出席者: 糸川委員長, 荒井地方委員, 森, 安藤, 岡崎(代), 松本, 栗栖(代), 菊池, 林各委員, 山口抄録幹事, 中川書記長, 深谷幹事, 岡本編集部員。協議事項: 1) 投稿原稿報告, 2) 原稿審査報告および新原稿審査委員決定,

4) 新講座について, 5) 9月号掲載予定報告:

近代道路における幾何学的設計(三野 定), プレストレスト コンクリート T 型断面桁の桁高とスパンとの関係について(木村又左衛門), 標準系発電所建設工事概要(有坂誠吾), 直交異方性板の曲げモーメント影響係数(足立 洪)

6) 各原稿依頼状況 7) その他。

2. 第2回会誌編集小委員会(昭 31.7.4) 出席者: 糸川, 丸安正副委員長, 森, 岡崎, 針ヶ谷各担当委員, 深谷幹事, 岡本編集部員。協議事項: 8月号編集につき最終的打合せを行った。

3. 31年度第1回論文集編集委員会部会長(昭 31.7.10) 出席者: 本間委員長, 星埜, 佐島各部長, 久保, 林, 白石, 春日屋, 徳平各幹事, 中川書記長。議事: 1) 各部会の議事報告, 2) 受付原稿処理, 3) その他審査方針につき協議した。

第1部会, 第3部会, 第4部会(昭 31.7.3) 第2部会(昭 31.7.4) それぞれ開催し論文審査を行った。

4. 31年度第2回会誌抄録委員会(昭 31.7.10) 出席者: 八十島委員長, 稲田(代), 加藤(代), 久野, 嶋, 二階堂, 沼田(代), 野口, 堀井, 山田, 渡辺各委員, 山口幹事, 岡本編集部員。協議事項: 1) 8月号抄録4編を決定, 2) 8月号文献目録(国内 37 編, 国外 207 編)を報告, 3) その他。

5. 海岸堤防小委員会準備打合せ(昭 31.7.2) 出席者: 東, 岩垣, 小川, 岸, 白石, 瀬尾, 浜田, 本間, 山内(代), 渡部の諸氏。協議事項: 1) 委員会の目的は海岸法にいう海岸保全施設の設計基準を作るための基本的事項を協議する, 2) 委員会の名称を海岸保全施設小委員会とする, 3) 委員会の構成を別項のとおりとする。近日中に幹事会を開催し原案作製方針を協議する。

6. 第9回土木会館建設委員会(昭 31.7.4) 出席者: 平山会長, 東総務部長, 金子委員長, 市村, 佐藤, 沢, 滝尾, 立花, 渡辺の各委員, 五十嵐幹事, 関東地建の桜井管轄部長, 角田建築第一課長。協議事項: 1) 建築請負業者決定報告(前回の議決に基き鹿島建設 K K に特命し折衝を続けたが2ヵ月にして不調に終わったので, 関東地建に一任, 指名競争入札の結果, 最低の高野建設 K K に示談で決定した), 2) 工事契約は関東地建の例にならいう前渡金は 20% とし適当な保証人を立てること, 3) 工事期間は 4 ヵ月, 起工式は学会として挙行せず請負者に一任し若干の祝儀を出すこと, 4) 庭は芝と植木を植える。

7. 第13回製図規格委員会(昭 31.7.5) 出席者: 福田委員長, 菊池, 河野(代津田), 佐島, 高橋, 高畑(代伊藤), 深谷(代佐伯), 丸安, 水越(代), 八十島の各委員, 橋本幹事。議事: 1) 実教出版社から工業高等学校教科書として土木製図基準の一部を転載方出願について了承, 委員長と理事会に一任, 2) 土木製図基準をこのほど再版したが JIS 溶接記号等が変つたので, その部分を JIS に合うように改訂した(了承), 3) 工業技術院から JIS 製図通則について各部門の製図基準を制定するために土木部門を土木学会に委託したいとの申入について, 4) 今後発電水力, 河川, 木構造を本年内にまとめて, 現在制定されている基準を重版の場合補遺として追加すること, 5) 次回には発電水力と JIS とを審議すること。

第14回同委員会(昭 31.7.26) 出席者: 福田委員長, 菊池, 河野(代津田), 高畑, 深谷(代佐伯), 三宅, 水越, 村上, 八十島の各委員, 橋本幹事。議事: 1) 樺島委員の後任に建設省河川局治水課木原栄造君をお願いすること, 2) 発電部門を水力発電とし逐条審議した。

8. コンクリート示方書改訂委員会分科会

無筋コンクリートおよびコンクリート道路分科会(昭 31.7.6), ダムコンクリート分科会(昭 31.7.18)

総合委員会(昭 31.7.23~28) 出席者: 吉田委員長, 国

分幹事長，ほか各委員，幹事および臨時専門委員数名，
議事：各分科会日程により並行に最終審議を行った。無
筋，ダム兩分科会（昭 31.7.31）

9. 第8回橋梁構造委員会（昭 31.7.9）出席者：福田委員
長，奥村，田中，田原，友永，山田（代大野）の各委員，
猪股，菊池の兩幹事，日本建築学会から仲教授，藤
田職員，日本学術会議佐々木事務官。議事：1）研究発
表会の日時を9月7日（金）9～17時とする，会場を建
築会館講堂とする，2）名称は“実在橋梁および構造物
の応力測定法並びに測定結果に関する研究発表会”とす
る，3）本日まで提出された講演数20であるが題目が
趣旨に添わないものもあるし，各委員審査の上 JSC 連絡
委員会で決定して貰うこと，4）第5回 IABSE 大会報
告は出席者が帰朝してから別途考慮すること，5）7月
25日に JSC 委員会を開催のこと。

10. 海岸保全施設小委員会幹事会（昭 31.7.23）出席
者：本間委員長，岩垣，岸，中本，浜田，白石，堀川（有
賀幹事欠席）の各幹事。議事：まず海岸堤防から始める
こととし，8月末までに各幹事が資料（外国文献共）と
腹案を持ち寄り協議することとした。

◎その他

1. 土木会館建設工事 7月31日現場着工，高野建設
KKで修祓式を行った。

◎関係学協会の動き

1. 日本学術会議橋梁構造工学研究連絡委員会（昭 31.
7.25）土木関係出席者：福田，友永の兩委員，伊藤 剛
田原保二の兩氏と椿箸書記。協議事項：1）前年度論文
英文報告について，2）本年度提出論文の採択について
3）研究発表会について（別項参照），4）臨時幹事とし
て友永委員に依頼，4）研究発表会の準備等。

2. 日本工学会（課税対策）会長会議（昭 31.7.18）
飯吉理事，中川書記長出席。議事：1）加茂会長挨拶，
2）課税対象となつた各学協会の概況説明，3）課税対策
委員会の設置について（委員学会：鉱業会，電気学会，
機械学会，土木学会，鉄鋼協会，衛生工業協会，精機学
会，電気通信学会，鉄道電化協会）

3. 日本水道協会 では今秋10月17日～19日の3日間
第25回総会を開催するとのこと。

支 部 だ よ り

1. 東北支部 第1回見学会（昭 31.6.30～7.1）参
加者90名。概要：6月30日（土）午前11時常磐線平駅
前集合，貸切バス，県および地建磐城国道工事事務所のバ
ス3台に分乗，11時30分磐城セメント四ツ倉工場到着，
午後2時まで見学，続いて午後5時まで常磐炭礦の全般
にわたる説明および坑内排水設備，火力発電所等見学，
終つて3旅館に宿泊午後6時から懇親会を開催した。7
月1日降雨の中を出発国道6号線の改良地区を見学しな
がら南下，勿来市呉羽化学工場を見学，再び国道を北上し
正午過ぎ小名浜に到着，昼食後港湾事務所長から修築工
事の概況を聞き続いて船で港内を一巡して10000トン
岸壁工事状況を視察，終つて専売公社小名浜製塩工場内
を見学，午後3時平駅前で散会し，非常に有意義に会を
閉じた。役員会（昭 31.7.24）出席者：鶴見 顧問以下
15名。議事：1）夏季講習会を土質工学会および復興建
設技術協会の兩支部後援のもとに8月2，3両日東北大
学で開催すること，2）日本学術会議会員候補者につい
て，3）夏季講演会（9月上旬）について，4）その他。

2. 中部支部 第1回公開講演会（昭 31.6.23. 名交
会館において）参加者約120名。講演題目および講師：
1）濃尾平野伊勢湾地域の地質構造と地盤沈下について
（松沢 勲理博），2）原子力とその利用について（山田
英二助教授）講演後「原子力とは」「三重火力」および
「中部地方の電力」の映画を上映，盛会であつた。

第4回幹事会（昭 31.7.3）出席者：幹事17名。議事：
第1回公開講演会の報告，2）第2回見学会について，
3）本年度支部大会並びに一部行事予定変更について，
4）その他。

3. 関西支部 第2回役員会（昭 31.7.27）出席者：福
留，三輪，島崎（代）元支部長，浦上支部長，久保田，吉
田，田杉，神主（代），篠原，天方，米谷，粕谷（代），中
田（代），井内，春田，岡田（代），大塚，森本の各商議
員，近藤幹事長，太田，松尾の各幹事。議事：1）日本
学術会議会員候補者（全国区）として当支部より矢野勝
正君を推薦することに決定，2）支部商議員小林正雄，
南 俊次の兩君転出につき吉田 登，北村正之の兩君を
後任に委嘱決定，3）第6回土木工事研究会を8月24日
開催案について，4）通俗講演会（6月23日奈良市）の
経過報告。

昭 和 31 年 7 月 分 入 退 会 報 告 （昭 31.7.1～7.31）

1. 入 会	85 名（正 26，准 32，学生 24，特 3 級 3）
2. 退 会	26 名（正 13，准 11，特 3 級 2）
3. 転 格	22 名（准より正へ 17，学生より准へ 5）

会 員 現 在 数 （昭 31.7.31 現在）

名誉員	賛助員	特別員 1 級	2 級	3 級	正員	准員	学生員	合計	増加
20	30	30	75	116	5 281	6 325	1 150	13 027	59